

成功への確かな狙い

第 37 回 IWA & *OutdoorClassic* の開幕 (3 月 12 日) までもう数週間となった。狩猟用、スポーツ用銃器、高級アウトドア用品、安全装備分野の世界の業者がニュルンベルクに集うこの機会をお見逃しなく。

今年の IWA は、ホールを 7 つ使用し、かつてないほど多彩で、分野の区分けも明確になり、分かりやすくなっている。出展社数は 50 カ国から 1100 社となり、記録を更新。ホール 6 は昨年、強制執行部門の出展社の舞台として一気にその地位を固めた。実演エリアでは製品が展示され、実際に試用することができる。ここでは、装備、ウエア、ホルスター、付属品等が展示され、他のホールでは公務使用のさまざまな銃器が展示されている。またホール 4 ではウエアの出展面積も拡大され、伝統的なウエアや最新のハイテク機能素材も見ることができる。

趣味に不況なし

IWA の真髄であり、最大の部門は、常に狩猟用及びスポーツ用銃器である。高級な銃器は、短命の傾向を生き延びるだけの価値を持っている。だから経済的に厳しい時代にあっても、比較的不況に強い。

IWA のその他の注目点は「ルック・ショーケース」。これは来場者にインスピレーションを与える 25 の店舗ウィンドウで、初めて双方向エレメントを展示。また開幕初日には今年 10 回目を迎え、有名になっている国際ナイフアワードがニュルンベルクメッセから授与される。IWA & OutdoorClassics は、ナイフ分野でも 160 社の出展を数え、世界最大の見本市となっている。

明るい展望：IWA-VISTA

自然光が入るので、双眼鏡やカメラを実際に試せるホール 4A では、主要テーマの IWA-VISTA で、最高級双眼鏡をはじめ、スポーツ光学機器部門の著名な出展社がまとめて出展する。ステージでは専門的なテーマについてインタビューや対談も行われる。今年もまたいろいろなことが計画されている。鳥類研究の Hellenthal は IWA-VISTA で猛禽類を移動目標として放鳥する。多くの来場者には、よく慣れているワシの「ガウチヨ」や好奇心旺盛な小型フクロウの「ワイティ」はすでに有名である。「この種の、他に例を見ない企画や光景は IWA-VISTA でしか経験できません。IWA-VISTA は国際双眼鏡部門で最も面白い舞台であることは間違いありません。」と IWA プロジェクトチームのトーマス・プロイテンボルベックは述べている。

連絡先：ニュルンベルクメッセ日本代表部 (ABC エンタープライズ株式会社内)
TEL: 03-5369-6787 FAX: 03-5369-7759

日本代表部で入場券を購入されますと、ニュルンベルク市の公共交通機関の乗車パスとしても使用できますので、空港から会場までの運賃が無料となり、また会場の入場券購入窓口に並ぶ手間が省け、便利でお得です。是非ご利用ください。